

令和8年度A日程  
学力検査問題

②

社 会

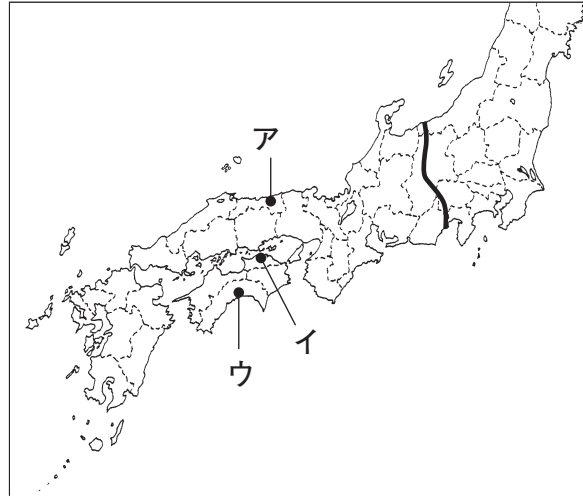
注 意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて11ページで、問題は **1** から **6** まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に **受検番号** を書きなさい。
- 5 答えはすべて **解答用紙の指定された欄** に書きなさい。

受 検 番 号

- 1 次の1～4の問いに答えなさい。  
 1 次の略地図を見て、下の(1)・(2)の問いに答えなさい。

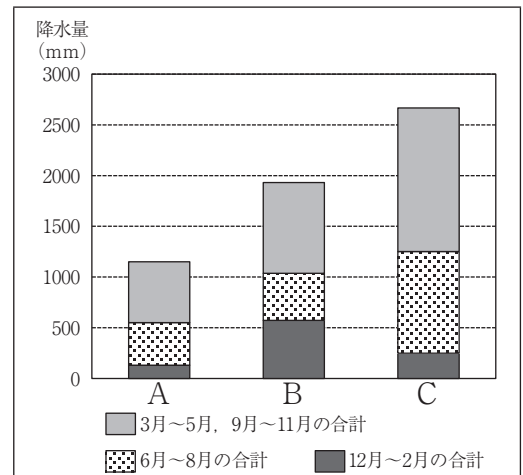
略地図



(1) 略地図中に **——** で示した線を西の縁とする大きな溝を境に、日本列島の地形は東西で大きく異なっている。この大きな溝の東側では山地・山脈がほぼ南北方向に、西側ではほぼ東西方向に並んでいる。日本列島の地形を分けるこの大きな溝を何というか、書きなさい。

(2) 右の資料I中のA～Cは、それぞれ略地図中の●印ア～ウで示したいずれかの県庁所在地における降水量を表したものである。資料I中のAに当てはまる県庁所在地を、略地図中のア～ウから一つ選び、その記号と県庁所在地名を書きなさい。

資料 I



(理科年表2025による)

2 次の文は、日本の標準時と国土について述べたものである。文中の  ・  に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

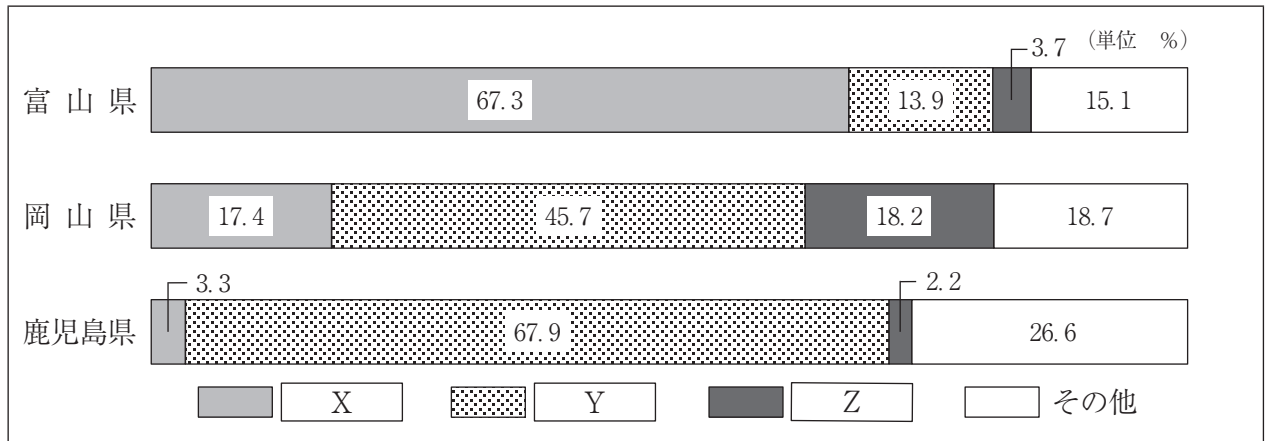
日本では、兵庫県  を通る東経135度の経線を基準として標準時を定め、この標準時を日本全体で使っている。

日本の国土の東端は、およそ東経154度に位置する  で、西端は、およそ東経123度に位置する与那国島である。

- ア a-明石市 b-沖ノ鳥島      イ a-姫路市 b-沖ノ鳥島  
 ウ a-明石市 b-南鳥島      エ a-姫路市 b-南鳥島

3 次の資料Ⅱは、2022年における富山県、岡山県、鹿児島県の農業産出額のうち、米、畜産、果実の産出額の割合を表したものであり、～には、米、畜産、果実のいずれかが入る。～に当てはまる農産物の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅱ

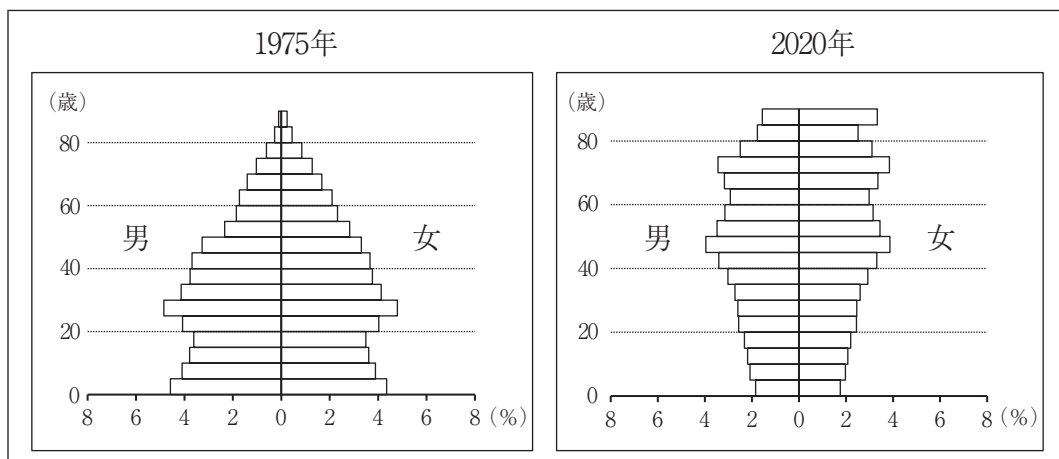


(データでみる県勢2025年版による)

- ア X - 米 Y - 畜産 Z - 果実      イ X - 米 Y - 果実 Z - 畜産  
 ウ X - 畜産 Y - 米 Z - 果実      エ X - 果実 Y - 畜産 Z - 米

4 次の資料Ⅲ中の二つのグラフは、それぞれ1975年と2020年における日本の人口ピラミッドである。1975年の人口ピラミッドと2020年の人口ピラミッドを比較して、15歳未満の人口と65歳以上の人口それぞれの割合の変化について、簡潔に書きなさい。

資料Ⅲ



(総務省の資料による)

2 次の略年表を見て、下の1～5の問いに答えなさい。

略年表

西 暦	で き ご と
476年	① <u>西ローマ帝国が滅びる</u>
607年	小野妹子が遣隋使として派遣される……………
1338年	足利尊氏が京都に幕府を開く……………
1428年	正長の土一揆が起こる……………
1603年	徳川家康が② <u>江戸に幕府を開く</u> ……………
1840年	③ <u>アヘン戦争が始まる</u>

1 年表中の下線部①に「西ローマ帝国が滅びる」とあるが、西ローマ帝国が滅んだ5世紀における我が国とアジアの国との関係について述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 朝鮮半島の戦乱の影響から、朝鮮半島の国と交流があった我が国に移り住む渡来人が増え、新しい技術が伝わった。
- イ 倭寇の活動が盛んになると、中国の王朝は、倭寇を取り締まるために民間の貿易を禁止して、我が国と勘合貿易を行った。
- ウ 朝鮮から朝鮮通信使とよばれる使節が、將軍の代わりごとに我が国に派遣された。
- エ インドや西アジアの文化が、シルクロードを通じて我が国にもたらされ、国際色豊かな天平文化がおこった。

2 年表中のAの時期に起こった我が国の仏教に関する次のア～エのできごとを、年代の古いものから順に並べ、その記号を書きなさい。

- ア 奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂を建てた。
- イ 運慶らが東大寺南大門に金剛力士像をつくった。
- ウ 聖武天皇が各地に国分寺を建てた。
- エ 最澄が比叡山に延暦寺を建てた。

3 年表中のBの時期に、加賀国（現在の石川県南部）では一向宗（浄土真宗）の信者である武士と農民たちが団結して一向一揆を起こした。この一揆により、加賀国はどのような政治の体制になったか、「守護大名」と「自治」の二つの語を使って、簡潔に書きなさい。

4 年表中の下線部②に「江戸に幕府を開く」とあるが、次の文は、江戸幕府が行った支配のしくみについて説明したものである。文中の  ・  に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

江戸幕府の将軍から1万石以上の領地を与えられた武士を大名という。大名の領地と支配のしくみを藩といい、幕府と藩が全国の土地と民衆を支配するしくみを  という。また幕府は、  を定めて大名の築城や結婚に規制を設けたり、参勤交代の制度を定めたりして、大名を厳しく統制した。

- ア a - 尊王攘夷    b - 武家諸法度    イ a - 尊王攘夷    b - 公事方御定書  
 ウ a - 幕藩体制    b - 武家諸法度    エ a - 幕藩体制    b - 公事方御定書

5 年表中の下線部③に「アヘン戦争が始まる」とあるが、次の資料は、アヘン戦争の原因となった、イギリス・インド・清の貿易についてまとめたものである。資料中の ( A ) ・ ( B ) に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料

**【イギリス・インド・清の貿易】**

18世紀

19世紀

18世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスは、茶と絹織物を清から輸入していた。</li> <li>・イギリスは、( A ) をインドから輸入していた。</li> <li>・茶の輸入の増加により、大量の ( B ) がイギリスから清に流出していた。</li> </ul>
19世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスが、( A ) をインドに輸出するようになった。</li> <li>・インドでアヘンを栽培させたイギリスは、アヘンをインドから清に密輸することで、( B ) が循環するようになった。</li> <li>・アヘンの密輸は、イギリスと清との戦争の原因となった。</li> </ul>

- ア A - 麻織物    B - 銅    イ A - 麻織物    B - 銀  
 ウ A - 綿織物    B - 銅    エ A - 綿織物    B - 銀

3 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の資料Iは、はるきさんが2024年における我が国の国会の動きをまとめたものである。資料Iを見て、下の(1)・(2)の問いに答えなさい。

資料I

日付	おもな動き	
1月26日	召集	
3月2日	衆議院で予算可決	
3月28日	参議院で予算可決 → 令和6年度予算成立 会期中に成立した <u>法律案</u> は69件	A
6月21日	閉会	
10月1日	召集, 内閣総理大臣の指名 会期中に成立した法律案は1件	B
10月9日	衆議院の解散, 閉会	
10月27日	衆議院議員総選挙	
11月11日	召集, 内閣総理大臣の指名	C
11月14日	閉会	
11月28日	召集 会期中に成立した法律案は16件	B
12月24日	閉会	

(衆議院の資料による)

(1) 資料I中の A ～ C には、それぞれの期間に行われた国会の種類が入る。

A ～ C に当てはまる国会の種類の組み合わせとして正しいものを、次のア～カから一つ選び、その記号を書きなさい。

- |   |         |         |         |
|---|---------|---------|---------|
| ア | A - 常会  | B - 臨時会 | C - 特別会 |
| イ | A - 常会  | B - 特別会 | C - 臨時会 |
| ウ | A - 臨時会 | B - 常会  | C - 特別会 |
| エ | A - 臨時会 | B - 特別会 | C - 常会  |
| オ | A - 特別会 | B - 常会  | C - 臨時会 |
| カ | A - 特別会 | B - 臨時会 | C - 常会  |

(2) 資料I中の下線部に「法律案」とあるが、我が国の国会における法律の制定や改正の手続きについて述べた文として正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 必ず、参議院より先に衆議院で審議が行われる。
- イ 衆議院と参議院で議決が異なり、両院協議会でも意見が一致しない場合には、衆議院の議決が国会の議決となる。
- ウ 衆議院と参議院それぞれの総議員の3分の2以上の賛成により、国会が発議し、国民投票を行う。
- エ 国会議員または内閣が案を作成し、国会に提出することができる。

2 次の資料Ⅱは、さくらさんが国際社会について学習した授業の振り返りとして書いたものである。資料Ⅱを見て、下の(1)・(2)の問いに答えなさい。

資料Ⅱ

現在、世界には面積も人口も異なる190を超える国があります。それらの国々はすべて、他国から支配を受けたり干渉されたりしないで、国内の政治や外交について自ら決める権利である a を有しています。国際社会は、こうした権利を有する a 国家から成り立っていることを学びました。一方、難民の問題をニュースで見かけると、私は心が痛みます。この問題を解決するために、将来私は、国際連合で働きたいです。

- (1) 資料Ⅱ中の a に当てはまることばを書きなさい。
- (2) 資料Ⅱ中の下線部に「国際連合」とあるが、国際連合の総会の議決について述べた次のX・Yの文について、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

X：加盟するすべての国が平等に一票をもつ。  
 Y：常任理事国は拒否権をもち、それを行使することができる。

- ア X - 正      Y - 正      イ X - 正      Y - 誤  
 ウ X - 誤      Y - 正      エ X - 誤      Y - 誤

3 次の資料Ⅲは、我が国の三審制のしくみについてまとめたものである。資料Ⅲ中の〔A〕・〔B〕に当てはまることばの組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅲ

**【三審制のしくみ】**

裁判はその内容によって、地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所のいずれかで行われる。これを第一審という。第一審の判決が不服であれば、上級の裁判所に〔A〕し、さらにその判決にも不服があれば、より上級の裁判所に〔B〕することができる。誤った判決を防ぎ、人権を守るために、一つの内容について3回まで裁判を受けられるようになっている。

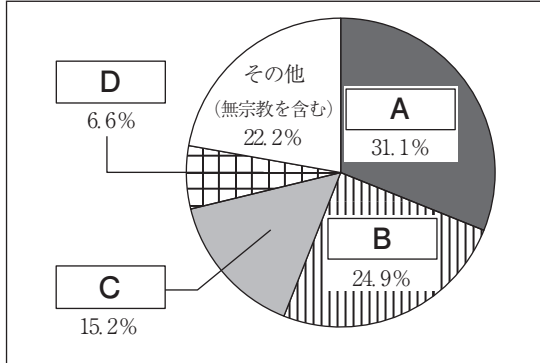
※抗告とは、判決ではなく、決定・命令となった裁判に不服がある場合の申し立て

- ア A - 上告      B - 起訴      イ A - 上告      B - 控訴  
 ウ A - 控訴      B - 上告      エ A - 控訴      B - 起訴

4 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の資料Ⅰは、2020年における世界の宗教別人口の割合を表したものであり、A～Dは、宗教の名称を表している。また、資料Ⅱは、資料Ⅰ中のA～Dいずれかの宗教について述べたものである。資料Ⅱの説明に当てはまる宗教を、資料Ⅰ中のA～Dから一つ選び、その記号と宗教の名称を書きなさい。

資料Ⅰ



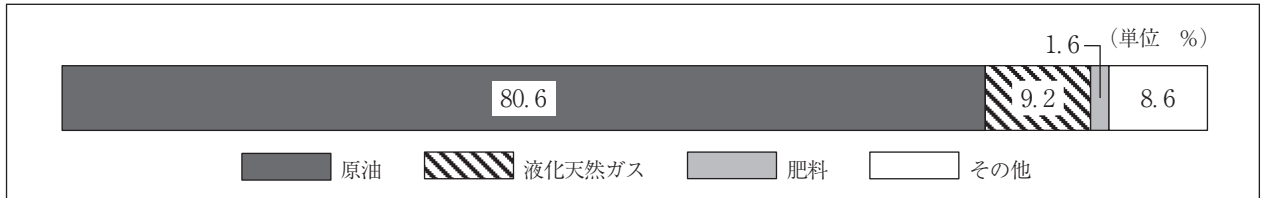
(世界国勢図会2024/25年版による)

資料Ⅱ

- ・この宗教では、牛は神の使いとされているため、信者は牛肉を食べない。
- ・巡礼者が<sup>もくよく</sup>沐浴をするために、聖なる川であるガンジス川を訪れる。
- ・2020年時点での信者数は、約12億人であり、信者は、特定の国や地域に多く見られる。

2 次の資料Ⅲは、2023年におけるナイジェリアの主要輸出品目と、輸出額全体に占める割合を表したものである。ナイジェリアはモノカルチャー経済の国であるといわれているが、その理由を、資料Ⅲをもとに簡潔に書きなさい。

資料Ⅲ

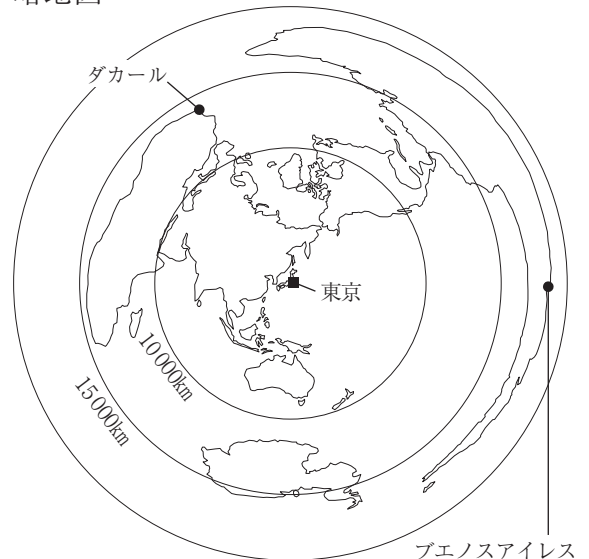


(データブック オブ・ザ・ワールド2025年版による)

3 右の略地図は、■印で示した東京を中心に、正距方位図法で描いた地図である。略地図から読み取れることを述べた次のX・Yの文について、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- X：東京からブエノスアイレスまでの距離は、15 000kmを超えている。  
 Y：ダカールは東京の北東に位置している。

略地図



- ア X - 正 Y - 正    イ X - 正 Y - 誤  
 ウ X - 誤 Y - 正    エ X - 誤 Y - 誤

- 4 次の資料Ⅳは、日本は2010年と2022年、オランダ、韓国、ブラジルは2022年における、総発電量と発電量のエネルギー源ごとの割合を表したものである。この資料から読み取れることを述べた文として正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅳ

国名	年	総発電量 (億kWh)	発電量のエネルギー源ごとの割合 (%)					
			水力	火力	原子力	風力	太陽光	その他
日本	2010	11 192	8.1	65.2	25.8	0.4	0.3	0.2
	2022	10 186	8.4	74.2	5.5	0.9	9.1	1.9
オランダ	2022	1 218	0.1	64.4	3.4	17.6	14.0	0.5
韓国	2022	6 139	1.2	64.2	28.7	0.6	4.7	0.6
ブラジル	2022	6 774	63.0	18.2	2.2	12.0	4.4	0.2

(世界国勢図会2013/14, 2025/26による)

- ア 2022年における火力を利用した発電量は、韓国よりオランダの方が大きい。
- イ 2022年における火力、風力、太陽光を利用した発電量の割合の合計は、日本が最も高い。
- ウ 2022年における風力を利用した発電量の割合は、オランダが最も高く、水力を利用した発電量の割合は、ブラジルが最も高い。
- エ 2010年と2022年を比べると、日本の総発電量は2010年の方が多いが、原子力を利用した発電量の割合は、2022年の方が高い。

- 5 のぞみさんは、明治時代以降の我が国のできごとについて調べてカードを作成した。次のカードA～Dは、その中の4枚である。このカードを見て、下の1～5の問いに答えなさい。

カード

<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>A</b></td> <td>明治時代（前期）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">幕末に結ばれた①<u>不平等条約の改正</u>を目指し、明治政府は岩倉具視を中心とする使節団を欧米に派遣した。</td> </tr> </table>	<b>A</b>	明治時代（前期）	幕末に結ばれた① <u>不平等条約の改正</u> を目指し、明治政府は岩倉具視を中心とする使節団を欧米に派遣した。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>B</b></td> <td>明治時代（後期）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">日露戦争終結後に結ばれた②<u>ポーツマス条約の内容</u>に、国民が不満をもち、日比谷焼き打ち事件が起きた。</td> </tr> </table>	<b>B</b>	明治時代（後期）	日露戦争終結後に結ばれた② <u>ポーツマス条約の内容</u> に、国民が不満をもち、日比谷焼き打ち事件が起きた。	
<b>A</b>	明治時代（前期）								
幕末に結ばれた① <u>不平等条約の改正</u> を目指し、明治政府は岩倉具視を中心とする使節団を欧米に派遣した。									
<b>B</b>	明治時代（後期）								
日露戦争終結後に結ばれた② <u>ポーツマス条約の内容</u> に、国民が不満をもち、日比谷焼き打ち事件が起きた。									
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>C</b></td> <td>大正時代</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③<u>第一次世界大戦中</u>に中華民国に対し、<u>権益拡大</u>などを求めて <input type="text" value="X"/> を示し、その大部分を認めさせた。</td> </tr> </table>	<b>C</b>	大正時代	③ <u>第一次世界大戦中</u> に中華民国に対し、 <u>権益拡大</u> などを求めて <input type="text" value="X"/> を示し、その大部分を認めさせた。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;"><b>D</b></td> <td>昭和・平成時代</td> </tr> <tr> <td colspan="2">土地や株式に対する投資が拡大したことにより、地価と株価が異常に高くなったが、1990年代初めに暴落した。</td> </tr> </table>	<b>D</b>	昭和・平成時代	土地や株式に対する投資が拡大したことにより、地価と株価が異常に高くなったが、1990年代初めに暴落した。	
<b>C</b>	大正時代								
③ <u>第一次世界大戦中</u> に中華民国に対し、 <u>権益拡大</u> などを求めて <input type="text" value="X"/> を示し、その大部分を認めさせた。									
<b>D</b>	昭和・平成時代								
土地や株式に対する投資が拡大したことにより、地価と株価が異常に高くなったが、1990年代初めに暴落した。									

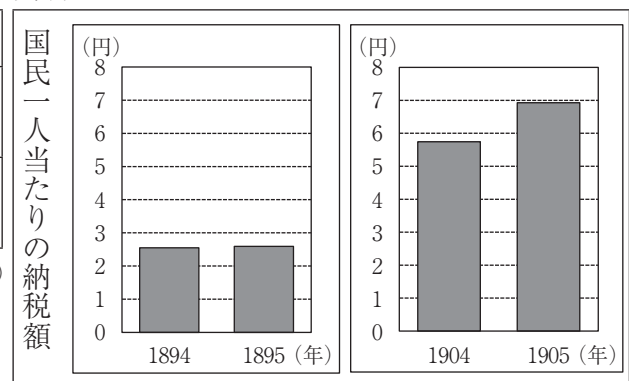
- 1 カードA中の下線部①に「不平等条約の改正」とあるが、1894年に我が国がイギリスと条約を結んだことで、領事裁判権（治外法権）の撤廃が実現した。1894年に我が国がイギリスと条約を結んだときの外務大臣は誰か、書きなさい。
- 2 カードB中の下線部②に「ポーツマス条約の内容」とあるが、次の資料Iは、日清戦争と日露戦争の我が国の戦死者と戦費を表したものである。資料IIは、日清戦争が始まった1894年と日清戦争が終わった1895年、日露戦争が始まった1904年と日露戦争が終わった1905年における我が国の国民一人当たりの納税額を表したものである。資料IIIは、日清戦争の講和条約である下関条約と、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で決められた賠償金について表したものである。ポーツマス条約の内容に、我が国の国民が不満をもった理由を、資料I～IIIそれぞれから読み取れることをもとに、簡潔に書きなさい。

資料 I

	日清戦争	日露戦争
戦死者 (人)	13 825	85 082
戦費 (千円)	232 404	1 826 290

(日本長期統計総覧による)

資料 II



(明治大正財政詳覧による)

資料 III

	下関条約	ポーツマス条約
賠償金	清から2億両 <sup>テール</sup>	なし

(国立公文書館資料による)

- 3 カードC中の下線部③に「第一次世界大戦」とあるが、次の資料Ⅳは、第一次世界大戦の戦勝国、国際連盟が発足した時の加盟国、第二次世界大戦の戦勝国に、a～cの国が当てはまるかどうかについて、項目ごとにまとめたものである。a～cはアメリカ合衆国、ドイツ、日本のいずれかの国であり、○はその項目に当てはまる国であることを、×は当てはまらない国であることを示している。a・bに当てはまる国名の組み合わせとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅳ

項 目	a	b	c
第一次世界大戦の戦勝国	○	○	×
国際連盟が発足した時の加盟国	○	×	×
第二次世界大戦の戦勝国	×	○	×

- ア a-アメリカ合衆国 b-ドイツ      イ a-アメリカ合衆国 b-日本  
 ウ a-ドイツ                              b-日本      エ a-日本                              b-アメリカ合衆国

- 4 カードC中の  に当てはまることばを書きなさい。
- 5 カードDに書かれたできごとを何というか、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。  
 ア 大戦景気      イ バブル経済      ウ 高度経済成長      エ 朝鮮特需（特需景気）

- 6 さちよさんのクラスでは、「私たちの暮らしと経済」の学習のまとめとして、班ごとにテーマを決めて、探究活動を行った。次の各班のテーマを見て、下の1～4の問いに答えなさい。

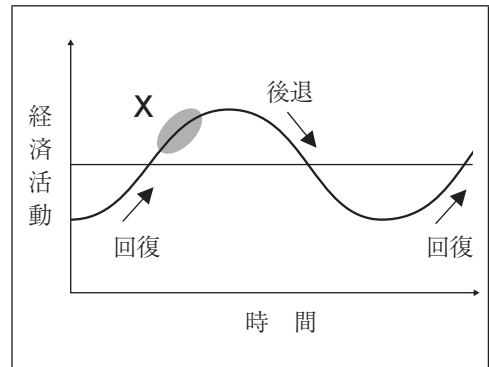
各班のテーマ

A班	企業の果たすべき役割
B班	景気変動
C班	社会保障
D班	働く環境

- 1 A班は、企業の果たすべき役割について発表した。企業の社会的責任（CSR）の例として誤っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 企業全体で環境保護に取り組み、植林活動を行う。  
 イ 児童・生徒の職場体験を受け入れたり、出前授業を行ったりすることで、教育や文化に貢献する。  
 ウ 働きながら長期のボランティア活動ができるよう、ボランティア活動休暇制度を社内に設ける。  
 エ 製品の販売を促進するために、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に広告を出す。

2 B班は、景気変動について発表した。右の資料Iは、発表に用いた景気変動の模式図である。資料I中の●で示したXの時期に、一般的にみられることを、次のア～カから三つ選び、その記号を書きなさい。

資料I



- |            |         |            |
|------------|---------|------------|
| ア 家計の消費の増加 | イ 賃金の減少 | ウ 企業の生産の縮小 |
| エ 物価の上昇    | オ 物価の下落 | カ 企業の生産の拡大 |

3 C班は、社会保障について発表した。次の資料IIは、発表原稿の一部である。文中の   に当てはまることばを、それぞれ書きなさい。

資料II

社会保障は、社会保険、公的扶助、社会福祉、公衆衛生の四つからなり、子どもからお年寄りまで、すべての人の生活を一生の間支えるしくみです。

日本の社会保障のしくみは、自助・共助・公助の三つを、うまく組み合わせてつくられています。人々の生活は、まず自分で働いて生活を支え、自分の健康を自分で守るという自助が基本です。そのうえで、年をとる、病気になる、介護が必要になるといった生活の中の困難に対しては、「みんなで助け合う」という考え方にもとづいて、協力して助け合う共助が、自助を助けます。そして、共助では助けられないくらい生活に困っている人に対しては、公助というしくみによって、決められた条件の中で、国や自治体が必要な支援をして生活を守るようになっています。

自助・共助・公助のうち、社会保険は  にあたり、公的扶助は  にあたります。

4 D班は、働く環境について発表した。右の資料IIIは、D班が発表に用いた社員募集の広告であり、労働基準法に違反している内容が2点含まれている。その内容を、それぞれ説明しなさい。

資料III

社員募集	
主な業務	商品開発, 営業, 広報から選択
月給	男性 30.1万円, 女性 29.4万円
勤務時間	8時30分～17時30分 (昼休み1時間)
休日	週1日, 有給休暇年30日
その他	社員寮あり